

# ニュースレター No. 53 ハーモニー・ライフ 平成23年9月6日発行

## 親睦会<バーベキュー>のおしらせ

お待たせしました4年ぶりの潮風公園でのBBQです！！今年は、サンセットでのご案内です。BBQ人気が上昇し、潮風公園は3年間予約にトライしましたが敗退でした。2か月前の8月3日にインターネット予約。夜中の攻防でようやく確保できました。家族やお友達もお誘い合わせの上、ぜひ皆様でご参加下さい。

記

日時：平成23年10月2日（日）16：30（集合）～19：30（予定）

場所：潮風公園（品川区東八潮1-2）バーベキュー広場（電話：03-5500-0689）

<http://www.herofield.com/bbq/shiokaze/>

集合場所：太陽の広場（売店前）

当日連絡先；武田携帯090-9833-5078



参加費
大人 3000円
小人（～中学生） 500円

売店前集合！！
15：45



- 交通：
- ◇ ゆりかもめ（新橋～有明）「台場」または「船の科学館」下車 徒歩5分
  - ◇ りんかい線 「東京テレポート駅」下車 徒歩10分
- 駐車場 有料 TEL 5531-0951
- アクセス
- ◇ 首都高台場線「台場」ランプ利用
  - ◇ 首都高湾岸線「13号地」「有明」ランプ利用

\*尚、準備の都合がございますので、会員の方には返信用はがきを同封しておりますので、9月26日までにご返送ください。会員でない方は、参加人数（小人の人数も）を明記の上、お手数ですが9月26日まで下記にメールまたは郵送にてご連絡ください。

（申し込み先：メールアドレス； [takeday@sfc.keio.ac.jp](mailto:takeday@sfc.keio.ac.jp)、郵送の場合には、9月26日（必着）迄にお申し込みください。〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学看護医療学部 武田祐子宛）

## 総会を終えて

代表：小林容子

3月11日の震災以来、久しぶりに会合がもたれました。震災の日に夜の茶話会を予定していたので、昨年度の締めくくりが中途半端になったことを、お詫びします。事務局となっている慶応大学も震災の影響があり、調整していただいた結果、6月5日総会開催できました。節電のため、空調が無いので窓を開け、風通しを良くして環境を整えました。

昨年度も茶話会に参加してくださる方が、毎回話題を提供していただき、実りある一年となりました。その成果を参考にして今年度も、ハンドブックの完成に努めます。東京の現状を考慮すると、今年度の活動は変則的になります。岩間先生に貴重なお話を伺える機会の茶話会開催についてが、影響の対象になります。今後の茶話会ですが、役員会で協議した結果、秋口のバーベキューまで休止することになりました。東京の節電状況から想像すると、大学の施設の冷房は望めません。気象状況が想像できないので、熱中症など心配されます。なるべく役員会などで得られた情報などを、武田さんと上野さん、学生さんの協力のもとに、ニュースレターの発行ができたと思います。その間、私たち役員は協力してハンドブック作りを進めていきます。

今回の総会の後、駒込病院の山口達郎先生に講演していただきました。FAPの様々な病状が、APC遺伝子の欠損によりであるものだとわかると、動かし難い運命に逆らえないと感じました。専門的な内容なので、レポートは上野さんをお願いします。

懇親会には20名あまりのかたが参加していただきました。初めての方も数名おられました。ストマの時のガスによる腹痛対応、手術前の子

供の検査の勧め方など活発に話し合われました。主治医の先生と意見交換が上手くいかず、悩むこともあります。患者同士で解決することができます。また発言したくない内容は、直接、岩間先生と武田さんに聞くことができます。夏の暑さを切り抜けた？秋からは、去年より回数を増やして茶話会を開催しますので、ぜひ参加してください。お待ちしております。

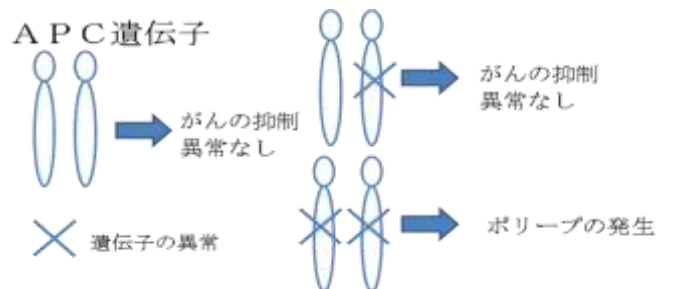
## 講演 FAPの遺伝型と表現型

山口達郎先生(がん・感染症センター都立駒込病院外科)

今回の総会での講演で、山口先生は、遺伝子の変化(変異)が、病気のあらわれ方にどのように影響しているのか、また最近の検査や手術方法などについてご講演してくださいました。

ご講演では、まずAPC遺伝子とはなにか、どうして大腸に腺腫(ポリープ)ができるのかについてお話してくださいました。APC遺伝子は癌抑制遺伝子の1つであり、では、どうして大腸に腺腫(ポリープ)ができるのかというと、『遺伝子は親からもらった設計図があるが、父親、母親の両方から受け継ぐのでペアのAPC遺伝子を持っている。APC遺伝子の片方に異常(変異)が起きたとしても、もう片方が正常に働けば癌抑制が働くため癌ができることはない。しかし、APC遺伝子の両方に異常が起これば癌発生抑制が働かず、ポリープができてしまう。』

FAP患者は、元々APC遺伝子の変異を1つ持っている。もう一方が変異を起こしてしまうとポリープができてしまう。そのため、通常変異に2段階かかるところが1段階の変異でポリープができてしまうという特徴を持っている』ということをご説明してくださいました。



その他、ポリープの密生型と非密生型について、遺伝型（遺伝子の状態）・表現型（身体に現れる状態）の関係、家族性大腸腺腫症の大腸腺腫と大腸外腫瘍における APC 遺伝子の変異、密生型・非密生型の変異パターン、手術方法の紹介（大腸全摘術、内括約筋切除術など）についてご講演くださいました。手術方法によっては全国に広がっているわけではないので、手術を行える病院が限られてしまうこと、括約筋を一つ切除してしまうことで肛門がゆるくなってしまうというリスクがあること、直腸を残存するとその時はよいが、5、10、15年の経過のなかで、残っている直腸にがんを発生してしまう場合があることや、膀胱機能、性機能などは残るが再発のリスクが大きいこと、手術により直腸と小腸をつないだ場合、小腸にも長い年月を経るとポリープができてしまうことがあることなどをお話くださいました。最後に、このようにさまざまな手術方法はあるが、再発や QOL を考えてどの術式がよいか選択していく必要があることをお話くださいました。そして、欧米の論文では、直腸内に 20 個以内のポリープであれば直腸を残してもよいなどというガイドラインができていないことなども、加えてお話くださいました。

講演後、参加者から密生型と非密生型の癌になる違いについて、手術方法について、遺伝子検査法についてなどの質問やご相談、意見交換が行われました。参加者からの感想として、「山口先生の講演内容を聞いて、専門的な部分があったので勉強して臨まなければと実感しました。また日進月歩で医療も進歩していると感じることができました。なぜ FAP になるのかということについては少しずつ解明されてきていて、人工肛門を作らなくてもいい手術方法も考えられてきているので、今後も医療の発達に期待したいと思います」というご感想をいただきました。

〈文責 上野いづみ〉



**【ミニ集会の予定】**

<b>&lt;昼の部&gt;</b>	<b>&lt;夜の部&gt;</b>
11/20(日) : 13 時	12/9(金) : 18 時忘年会
2012 年 1/22(日) : 13 時	2/24(金) : 18 時
3/11(日) : 13 時	

**\*日程変更の可能性がります**

**会費納入について**

会費の納入方法は銀行の振込です。必ず会員の方のお名前を明記してください。

「ハーモニー・ライフ」では、随時会員の入会を受け付けております。入会申込書にご記入いただき事務局にお送り下さい。同時に年会費（2000円）を振り込んで下さい。会費の納入が確認でき次第、会員として登録させていただきます。入会を希望される方がいらっしゃれば、是非ご紹介下さい。ご不明な点については、事務局に文書でお問い合わせ下さい。

<年会費の振込先>

りそな銀行 横浜支店 普通 1 5 9 4 2 1 1  
名義：ハーモニーライフ タケダユウコ

編集後記：

大学施設としての節電目標が設定され、土・日のエアコン使用が規制されてしまい、7-9月のミニ集会在設定できずに申し訳ありませんでした。どこか他の集会所での開催ができないかと探ってみました。公共の安価な部屋は土日の確保が難しく設定できませんでした。お詫び申し上げます。

東北地方の方々は何かと大変な生活をされていると思います。お身体大切に、気をつけてお過ごし下さい。

記録・広報係：武田祐子  
慶應義塾大学看護医療学部

E-mail: [takeday@sfc.keio.ac.jp](mailto:takeday@sfc.keio.ac.jp)

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

TEL 03-5363-2064